

研究名：

超音波検査における Double Bladder Sign が診断に寄与した小児の卵巣捻転例の検討

1. 研究の目的

腹痛や嘔吐を主訴に救急外来を受診し、患者さんのベッドサイドで臨床医が行う焦点を絞った超音波検査（point-of-care ultrasound, POCUS）を含む腹部超音波検査で double bladder sign（膀胱と卵巣の嚢胞性腫瘍とがあたかもふたつの膀胱のように見える兆候）もしくはそれに準ずる所見が卵巣捻転の診断の契機となった患者さんの臨床像や超音波検査所見について検討し、卵巣捻転の早期診断に有用な知見を得ることを目的とします。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2019年4月1日～2024年3月31日の期間に腹痛・嘔吐を主訴に当センターの救急外来を受診し POCUS を含む腹部超音波検査で double bladder sign もしくはそれに準ずる所見が卵巣捻転の契機となった18歳未満の患者さんを対象とします。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後から2025年12月31日迄
- ③ 研究方法：上記の患者さんを対象として、後方視的にデータを収集し、臨床像や超音波検査所見について検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

生年月日、基礎疾患、主訴、診断、転帰、腹部超音波検査の所見、その他の検査所見（単純X線検査、CT検査、MRI検査）等。

情報の利用開始日は、2025年6月16日。

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、**2025年7月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 小丸 貴生

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7715）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 小丸 貴生